


2020 ~ 2021 年度国際ロータリーのテーマ

ロータリーは機会の扉を開く

●会長 松本 一也
●幹事 福井 学

 No.1719 令和 02 年 11 月 25 日 第 19 回例会

※例会日 毎週水曜日 12:30~

※例会場 〒860-0846 熊本市中央区城東町4の2 熊本ホテルキャッスル内

※事務所 〒860-0846 熊本市中央区城東町4の2 熊本ホテルキャッスル内 TEL 354-4521 FAX 354-4053

※ URL <http://www.serc2720.org> ※ email serc@serc2720.org

ロータリーは機会の扉を開く

■点鐘

■国歌斉唱「君が代」

■熊本東南ロータリークラブソング 「Joyful And Good」、12月の歌「きよしこの夜」

■来訪者紹介

卓話者 ボイスマンタルセラピスト 本田由美子 様

■新会員入会式

新会員 武末直大 君

■会長の時間

(会長 松本一也)



「コスモス」

昨日、ふと中学生の頃を思い出しました。私は、帯山中学校に通っており、化学クラブに入っていました。部長の先生は、おらかな人で、あまりうるさく言わなかったので、けっこう自由にやっていました。当時(55年くらい前)の帯中の周囲は、芋畑や、落花生畑が多かったので、放課後、干してある落花生を、黙って貰ってきて、部室のアルコールランプで焼いて食べたり、薬品棚のブドウ糖を隠れてなめたりして、とても楽しかったです。

その頃、研究していたのが、植物細胞の細胞壁及び植物繊維の主成分であるセルロースから、希硫酸を使い加水分解して、グルコース(ブドウ糖)を、生成するというものでした。これは、最終的には、木材等の植物繊維からエネルギーを取り出し、オイルショック等のエネルギー危機に備えるための研究につながるものでした。この研究で、私たちのクラブは、県の発表会で銀賞を受賞しました。その頃の私は、宇宙とか恒星とか惑星とか相対性理論とか、いろいろな科学的なものに興味を持っていました。

そこで、今日は、人体を構成している元素について、話してみたいと思います。人間の体は、水(60%~70%)、タンパク質(15%

~20%)、脂肪(13%~20%)、ミネラル(5%~6%)、糖質(1%)、その他(6%)、で造られていると言われています。しかし、これは分子レベルで見た場合です。

元素(原子)レベルで見ると、酸素65%、炭素18%、水10.0%、窒素3.0%、カルシウム1.5%、リン1.0%、その他1.5%、となっています。これらの原子が集まって、人体が出来ています。つまり、原子が結合して分子を組成して、その分子により人体が出来ているということです。例えば、水素原子2つと酸素原子が1つ結合して、水の分子が出来、それが集まって水になるように。

それでは、私たちの体を造っている原子は何処で出来たのでしょうか。話は宇宙の誕生までさかのぼります。

宇宙の始まりは138億年前、超高温・超高密度の火の玉「ビッグバン」の急膨張により誕生したと言われています。では、ビッグバンはどうやって起きたのでしょうか。その謎の答えだとされているのが、ビッグバン直前の「宇宙の始まりの瞬間」をとらえた「インフレーション理論」です。

1981年に東京大学の佐藤勝彦名誉教授が発表したインフレーション理論は、宇宙誕生の10の34乗分の1秒という超短時間(これは、1秒の1000兆分の1のまた1000兆分の1の10000分の1にあたるそうです)に、極小だった宇宙が急膨張(これは、ウイルスが一瞬にして銀河団以上の大きさになるほどの、想像を絶するものだそうです)し、その際に放出された熱エネルギーがビッグバンの火の玉になったとする理論です。

宇宙には、ビッグバンによって生まれた基本的元素である水素とヘリウムが圧倒的に多く99.8%を占めます。その後、恒星の核融合の結果、鉄等のいろいろな原子ができます。重量の重い恒星は、内部での核融合が行われなくなると、自らの重力により、中心に向かってつぶれ、中心部の圧力が上がり10億度以上の高温になり、大爆発を起こします。これが超新星爆発で、その大爆発で、鉄をはじめとする核融合の際に出来た物質は、星屑や塵となって宇宙に飛び散り、漂います。その際、恒星の重量の差により、中心が、ブラックホールとなつたり、中性子星になって残ります。

私たちの、血液の中を流れる鉄分は、数十億年以前に起こった超新星爆発によつて作られた物質です。それが宇宙空間を漂い、太陽系が作られる際に地球という惑星に取り込まれ、食物を通して私たちの体の中に入ったのです。さらに、私たちの身体のいたるところにある物質、水素は、宇宙の誕生とともに作られた元素です。138億年もの間、この宇宙に存在し続け、今、私たちの一部となっているのです。

こういう事を考えていると、小さい事をうじうじと思いついて、ばからしく思えて来ます。ロマンです。



■幹事報告

(幹事 福井 学)

1)

硯川昭一 ガバナー、大森克磨 ガバナーエレクト、川崎誠治 地区ロータリー財団部門長より、地区補助金管理セミナー開催の案内。



日時 2021年1月30日(土)

13:00~16:00(登録開始12:30~)

場所 ホルトホール大分 3F 大会議室

出席者 会長エレクト、財団委員長、国際奉仕委員長、他希望者可(最低1名は出席ください)

2)

児童養護施設 藤崎台童園より、クリスマス会中止のお知らせ。

■今後の行事

01月	01月30(土)	地区補助金 管理セミナー	大分県 大分市	ホルトホール大分
-----	----------	-----------------	------------	----------

■ロータリー情報の時間

(ロータリー情報担当 鈴木義親)

「出席について」

出席の意義

出席はロータリーの特色のひとつで会員の資格条件になっております。

クラブ例会に規則正しく出席する事は入会の時に受け入れた最も基本的で重要な責務であります。

自分のクラブに対し行う出席という最小限の奉仕であり更にその出席率のより高い理想に向かつて努力することをロータリーは求めています。

出席義務

ロータリアンの三大義務として会費の納入、ロータリー雑誌の購読そして例会出席があります。

出席の要件は標準クラブ定款第10条(出席)と第13条1節、2節(終結一欠席)に規定されています。

例会への出席が大切にされるロータリーでは、どうしても仕事等の都合で出席出来ない時はメイクアップ制度を利用する事です。

出席委員会

この委員会は全てのクラブの会員があらゆるロータリーの会合に出席すること

・これは地区大会、都市連合会、地域大会および国際大会への出席も含まれる

・この委員会は特に本クラブの例会への出席と本クラブの例会に出席出来ない場合の他クラブへの出席を奨励し全会員に出席規定を周知させ出席をよくするためのより良き奨励策を講じ、そして出席不良の原因となる事項を確かめてこれを除去することに努めなければなりません。



■委員会報告

(姉妹クラブ担当 堤勝也)

口和歌山東南RC創立50周年について

・旅費、宿泊費などが確定いたしましたので出欠のご回答をよろしくお願いいたします。



■委員会報告

(青少年奉仕担当 宮川義行)



アクト第1例会が11月26日20:00より、Zoomで行われます。

アクト第2例会は11月27日19:30より、久しぶりの対面で行われます。今回は東南、城東、グリーンの各アクトの合同例会となります。

■出席報告

(出席・プログラム担当 杉本整哉)

月日	会員数	出席者数	MU	修正出席者数	出席率(%)
11月11日	42 (免3) 39	31	3	34	87.18
11月25日	43 (免4) 39	31			79.48

☆新入会

11月25日 武末直大

☆出席免除

11月11日
住江正治 鷲山法雲 島村徹男
11月25日
住江正治 古庄浩二 島村徹男
佐野 茂



☆欠席者

11月11日(5名)
川崎直樹 井村宜敏 小野川善久 山坂哲生 堤 勝也

■スマイル報告

(親睦・スマイル担当委員 松岡歩紗実)

沼田敏雄 10,000円



武末直大会員の入会歓迎します。ロータリーを楽しんで下さい。お父さんとは長い友人です。



◎宮川義行 7,000 円



武末さんの入会を歓迎します。本田さんの卓話を楽しみにしています。

21日、熊本城ホールで職業奉仕ハイブリッドセミナーが行われました。大分会場、オンラインあわせて110名の参加でした。準備も含めると朝8時30分から夕方5時まで古田会員と一緒にしました。大分会場、熊本会場をオンラインで結び、大分・木下パストガバナーの「職業奉仕に惹かれてロータリーへそして今」、熊本・永田パストガバナーの「ロータリーの歴史に学ぶ職業奉仕」の素晴らしい講演があり、総合司会を古田会員が行いました。「ロータリーの目的」は各自の職業を高い倫理基準を保ち高潔なものとして社会に役立つ事、奉仕の理念をもって国際理解・親善・平和を推進することとなっています。社会に役立つ活動を積み重ねてきた東南ロータリーの皆さんにスマイルします。

◎彌富照皇 5,000 円



武末さんのご入会おめでとうございます。そして、本日の卓話を楽しみにしています。

◎鷺山法雲 5,000 円

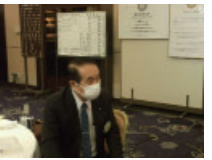
本田先生の卓話お世話になります。力合幼稚園、保育園で英語、リトミックのご指導をお願いしています。子ども達もとても楽しんでます。

◎福井学 5,000 円



武末直大君の入会を歓迎します。これからよろしくお祈りします。本田由美子さんの卓話も楽しみにしています。宜しくお願いします。

◎松本一也 5,000 円



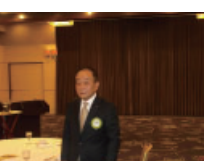
武末直大会員、入会ありがとうございます。本田由美子様、卓話ありがとうございます。楽しみにしています。

◎松田和成 3,000 円



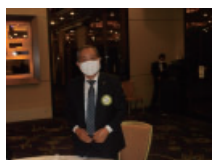
武末さんの入会おめでとうございます。本田様の卓話楽しみにしています。

◎吉田嘉昭 3,000 円



本田様、本日の卓話よろしくお祈りします。武末様、入会おめでとうございます。ようこそ熊本東南ロータリークラブへ。よろしくお祈りします。

◎松本繁 3,000 円



武末様のご入会を祝してスマイル致します。又、鷺山ソングリーダーの久しぶりの指揮、嬉しく思います。

◎鈴木義親 3,000 円



新入会員 武末様の入会を祝してスマイルします。

◎武末直大 3,000 円



本日より入会させていただきます。分からないことばかりで皆様にご指導頂く事になりますが、どうぞよろしくお祈りいたします。

◎松岡歩紗実 2,000 円



武末さんの入会おめでとうございます。これからよろしくお祈りします。本田由美子さんの御来訪を歓迎いたします。

11月28日より三年坂TSUTAYA 2Fでクリスマスの販売イベントと、12月11日よりサクラマチクマモト屋上ガーデンでクリスマス・マーケットも開催されます。美味しく可愛いアイシングクッキー買いにいらしてください。

◎緒方公一 2,000 円



武末さんの入会を歓迎します。ロータリーを楽しみましょう。

◎山田公也 1,000 円



武末さんの入会を歓迎いたします。楽しくやりましょう。そして、ボイスマンタルセラピスト 本田由美子さんの卓話、楽しみにしております。よろしくお祈りします。

■外部卓話

(ボイスマンタルセラピスト 本田由美子様)

あなたの声の魅力で、
伝える、伝わる、
ボイストレーニング法について



★あなたの声の魅力で伝える、伝わる、ボイストレーニング
声と心と身体は繋がっている。

伝える声、伝わる声は、声のトレーニングだけではなく、そこに繋がる呼吸力や表現するメンタル力の育成がとても大切であり、その人の持つ人間力が『伝える、伝わる声』に繋がる。

◎声は、その人の紋章/今日の気分で洋服・ネクタイを替えられるが声は変えられない。

自分の声の魅力というのは、自分で磨いていくしかない。

人間力を高めるボイストレーニング

=====

本日のレクチャー:

軽いストレッチ、呼吸レッスン、「ため息呼吸」「あくび呼吸」で、リラックスを促し、肚を意識して発声を促す。また話す空間によって届ける意識を広げること、伝えたい相手には、相手の懐に届け

る意識をしっかり持って発声すること。を伝える。呼吸レッスンや歌う実践を入れることで、身体の循環を感じていただいた。

<呼吸を意識した発声は、免疫力アップに繋がる>

また笑顔になることで声のトーンが変化するので、口角を上げることを促すために、ほっぺマッサージ。

◎心の自信、人柄が声にじみ出る

◎心の堅さや、人格が声に出る

受け取る側は、柔らかな声のトーンと、威圧的な声のトーンとどちらが良いか!!!

ほんだゆみこのトレーニングは、発声の、テクニカルアプローチだけではなく、『心』へのアプローチがメインであり、ハートからのコミュニケーション意識を持つことで、必然的に両方、改善される。

『自分への自信』その『ころ』が、人に自分の想いを伝えるツールとしての「声」に、その方の人間力の魅力が添えられる。

☆コロナ自粛になり、無意識に表現を制限している今、免疫力を上げるには、しっかりと呼吸をして、ストレスを減らす必要がある。そのためのストレッチや、あくび呼吸、さらに笑顔、笑うこと、歌うこと、音楽は、免疫力を上げるのにとっても有効。また音楽は、瞬時に一体感<その場にいる方を繋げる役割がある>を感じていただけるのと、感情に働きかけやすいので、(コロナで先行き不透明)このような空気感の時には、とても大切。だと思っている。

■点鐘

編集者 沼田敏雄

編私が寄付する理由 ロータリーボイスより

投稿日：3月4, 2020

～坂本精志氏（名古屋名東ロータリークラブ会員）へのインタビュー



坂本精志さん

ウガンダにあるマケレレ大学にアフリカ初となるロータリー平和センターが設立されました。アフリカの人びとが待ち望んだ平和センターの設立。その実現の裏に、一人の日本人ロータリアンからの支援があったことをご存知でしょうか。その方の名は、

ホシザキ株式会社取締役会長の坂本精志さん。マケレレ大学ロータリー平和センター設立のために25万ドルを寄付し、第2760地区（愛知県）からの寄付25万ドルにこれをマッチングすることによって、日本からの50万ドルの支援を実現させました。今回のブログでは、ロータリー財団やロータリー米山記念奨学会を熱心に支援してきた坂本さんにお話をうかがいました。

恩返しする心を父親から学ぶ

父は旧制中学を卒業しましたが、実家が農家だったので進学できない状況でした。しかし、ある篤志家が現れ、その人の支援で神戸工業高等学校に進むことができたんです。それが（父が創業した）今のホシザキ株式会社につながっています。

父は社会奉仕に力を入れていました。会社と自分の資産を合わせて、特に地域社会のためにいろいろやっていました。父は公益財団法人ホシザキグリーン財団という環境保全団体を作りましたが、これは島根県で設立した財団です。工場がある島根県では、今も地域に貢献しています。父はその後、故郷に奨学会を作り、延べ120人を支援しました。そんな父の影響を受けて、今度は

私が社会へのお返しをする番だと思い、ロータリーに限らず、いろんなボランティアに関係するようになりました。国内では特に奨学金制度を作り、米山記念奨学会を支援しています。今では寄付を目的とした二つの団体をつくり、年間220人の奨学生をお世話するほどになりました。一つは、私たち夫婦のホシザキ株を全部入れてつくった「坂本ドネーション・ファウンデーション」で、株の4分の1を米山記念奨学会に寄付しました。もう一つは昨年8月に設立した「一般財団法人ホシザキ新星財団」で、半分は奨学金に、残りの半分はほかの奉仕活動に充てています。

財産は「社会からの借りもの」

私は戦中・戦後を経験した人間なので、金銭面では食べていけば十分、余分なものはいらないと考えています。お金やモノへの執着はありません。でも、会社は世界一にしたい、業界でナンバーワンになりたい、という願望はあります。おかげさまで実際にそうなりつつあります。ホシザキも発展し、上場もできました。そんな中、昔から「財産は社会からの借りもの」と感じていた私は、子どもや妻には相続させずに、すべて社会にお返しする、という考えでいます。

社会で生かしていただいていることへの感謝として、ポール・ハリス・フェローと米山功労者として、30年連続で支援を続けています。額は多くなくても、これを続けていることは私の誇りです。支援の機会を与えられて

以前、米山記念奨学会にホシザキ株を寄付しようと思いましたが、現金以外は受け取れないという定款がありました。そこで、5年かけて野村証券の助けを借りて仕組みを考え、一昨年、日本で初めて優先株を寄付する仕組みをつくりました。当時の時価1500億円くらいの株を寄付し、その配当で米山記念奨学金をうらおしていただいています。

なぜこれほど米山記念奨学金を支援するかというと、日本は少子高齢化と借金大国で、今後国としてますます貧しくなると思っており、国際的な力も衰えてくると考えています。そういうときに、日本をよく知っている人、支援してくれる人を育てていかないと、将来日本は国際的にも存在感がなくなると考えているからです。ロータリー財団はあまり身近に感じていなかったのですが、私の昔からの友人で、心から尊敬、信頼するロータリアンである小澤さんからロータリー財団への寄付を勧められて、1回目の寄付をしました。その時の寄付は、海外での奉仕活動のために使うという条件で行いました。そしてまた昨年、その友人からアフリカでの平和センター設立への支援を勧められたので、喜んで話に乗りました。マケレレ大学についてよく知っていたわけではありませんし、特にアフリカだから支援した、ということでもありません。良いことをする機会を与えてもらい、ただお役に立てれば幸い、喜んでいただければよいという気持ちしか、正直ありませんでした。アーチ・クランフが作った財団への最初の寄付も、目的は何であれ、「よいことのために」と寄せられたものではなかったでしょうか。

日本の寄付文化を育てたい

日本人は寄付する力があり、寄付する気はあるけれど、目立つことをすると売名行為にとられたり、変な見方をされるのを嫌います。実際に、寄付をした人をそういう目で見られる傾向があります。「陰徳」が美德とされ、私も以前は寄付しても名前は絶対出さない心がけていました。しかし今は、むしろ堂々と寄付しています。日本でも「寄付する文化」を築きたいという思いで、寄付を売名行為だと言われても気にせず、名前を出すことに躊躇しなくなったのです。だから、皆さんも恐れずにどんどん寄付しましょう、と仲間には呼びかけています。